

営農だより 第10号

おいしいをつくりましょ。



発行 令和3年7月20日
北駿産米改良推進協議会
JA 御殿場 営農課
TEL:0550-84-4820

目標

- ① 「米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
- ② 粒張が良く、食味値80点以上の良食味米

～出穂期になります。病害虫防除を徹底し、品質を落とさないようにしましょう!!～

本年は7月に入り一時的な降雨の影響により降水量が平年を大きく上回りました。また7月前半を通して曇天が続き、日照時間は例年を大きく下回っています。しかし7月後半から8月は気温が高くなる予報となっておりますので今後の天候に注視して管理を行ってください。

田植え後は1日の最高気温・最低気温が平年を下回る現象が断続的に起こり緩やかな生育でした。しかし6月に入ると天候に恵まれ、7月の天候不順が懸念されましたが現在生育も例年並みに推移しています。コシヒカリの出穂期に関しても7月下旬から8月上旬の予想です。（本年は昨年と比較し2日程度遅い）

稲こうじ病(出穂14～10日前)の防除はできましたか？今後の重要な管理として、品質を落とさない為の病害虫防除があります。特に**カメムシ防除をしっかりと行いましょう！**まずは畦畔の草刈りを出穂10日前までに終わらせ、収穫2週間前まで草刈りを行わないようにして下さい。その上で、薬剤防除を徹底しましょう。

穂ばらみ期から出穂期にかけては稲体が水分を多く必要とします(詳細は裏面へ)。現在中干しを行っている方もいるかと思いますが、この時期は土壌水分が不足しないようにして下さい。その後は酸素供給も兼ねて適切な**間断灌水の徹底**により稲体を最後まで健全に保ち、登熟を向上させ粒厚の充実した良食味米の収穫を目指しましょう!!

【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

期間	項目	平均気温 (°C)			日照時間 (hr)			降水量 (mm)		
		本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月	計	11.8	11.5	0.3	197.0	161.3	122.1	241.5	252.6	95.6
5月	計	16.3	15.9	0.4	144.5	158.6	91.1	331.0	243.7	135.8
6月	計	19.6	19.2	0.4	124.8	103.0	121.2	305.0	312.5	97.6
7月	1～5日	20.2	21.5	▲1.3	0	14.8	—	572.5	73.9	774.7
	6～10日	22.9	22.1	0.8	4.7	16.8	28.0	31.0	71.7	43.2
	11～15日	22.8	22.6	0.2	17.9	18.4	97.3	23.5	60.6	38.8
7月	前半 計	22.0	22.1	▲0.1	22.6	50.0	45.2	627.0	206.2	304.1

【管内水稻生育状況】 株間平均 18.8 cm (目標茎数 324 本) 7月13日(火)現在

場所	標高 (m)	播種 日	植付 本数	茎数 (本)	茎数 /㎡	目標茎数 (%)	草丈 (cm)	葉齢	葉色	田植 え日
神山(町屋)	300	4/16	4.4	21.3	430	132.7	69.3	11.5	4.3	5/8
吉久保	370	4/3	3.3	21.7	341	105.2	73.6	12.0	3.0	5/1
大堰	400	4/18	3.7	36.9	561	173.1	70.3	11.6	4.6	5/15
用沢	480	4/1	3.1	21.8	403	124.4	71.7	12.1	4.7	5/9
仁杉(カト-周辺)	500	4/10	4.4	25.7	460	142.0	68.2	12.0	4.4	5/6
中畑	550	4/4	3.9	13.6	273	84.3	60.2	11.2	3.7	5/1
印野	600	4/6	5.1	22.3	361	111.4	59.9	11.5	4.1	5/3
平均			4.0	23.3	404	124.7	67.6	11.7	4.1	
R2 同時期			3.2	20.1	358		71.3	12.2	3.8	

生育巡回の結果から…

コシヒカリの出穂は昨年より2日程度遅い

7月8日から7月14日までの6日間で、JA御殿場管内ほ場、部農会単位による生育診断を168箇所のは場で行いました。結果は下記の通りです。

【コシヒカリ出穂期予測】 (生育巡回調査結果より)

支店	地区	本年予想出穂期	R2 出穂期	支店	地区	本年予想出穂期	R2 出穂期	
富士岡	全地区	7/30	7/28	北 郷	下古城	8/1	7/29	
	原 里	7/30	8/1		上古城	8/3	8/3	
	印 野	8/4	8/2		大胡田	8/2	8/1	
	玉 穂	8/6	8/2		用 沢	8/4	8/2	
御殿場	東 山	7/31	8/4		棚 頭	8/1	7/31	
	高 根	古沢	8/4		8/2	上野・阿多野	8/3	7/28
		大堰	8/2		8/2	大御神・中日向	8/2	8/1
		上小林	8/4		8/4	一 色	8/6	8/2
清後	8/5	8/1						
足 柄	全地区	7/26	7/26					
小 山	全地区	7/30	7/27					

※上記の出穂予想日は平均値であり、ほ場により異なります。後半の肥料切れを防ぐためにも葉色が褪めているほ場などは穂肥を適期適量でを行いましょう。また、調査日現在の予想である為、調査後の天候により出穂期が前後することが考えられますので穂肥や水管理のタイミングは自身のほ場を確認して行いましょう。

【葉耳間長から予測する出穂期】

※葉耳間長：止葉の葉耳と2枚目の葉耳の間の長さ

- ①止葉の葉耳が中に入っているのむいてみる。
葉耳間長-10cm ⇒ 出穂 15 日前
- ②止葉と第2葉の葉耳が重なった時
⇒ 出穂 10 日前
- ③止葉の葉耳が第2葉の葉耳の上に出ている。
⇒ 出穂 5 日前

適正な水管理により品質低下を防ぎましょう!!

穂ばらみ期に入ります。今後は、生育状況に適した水管理を行いましょう。

7月前半は一時的な降雨により田面がなかなか干せないほ場もあったかと思いますが、しっかり中干しはできましたか？

穂ばらみ期（出穂の10～7日前）から出穂期（ほ場の5割程度出穂）にかけては稲体の水分蒸散量と酸素消費量が最大となります。ほ場の出穂期を見極めて、この期間は土壤水分が不足しないようにしてください。その後、酸素供給も兼ねて適切な間断灌水の徹底により稲体を健全に保ちましょう。

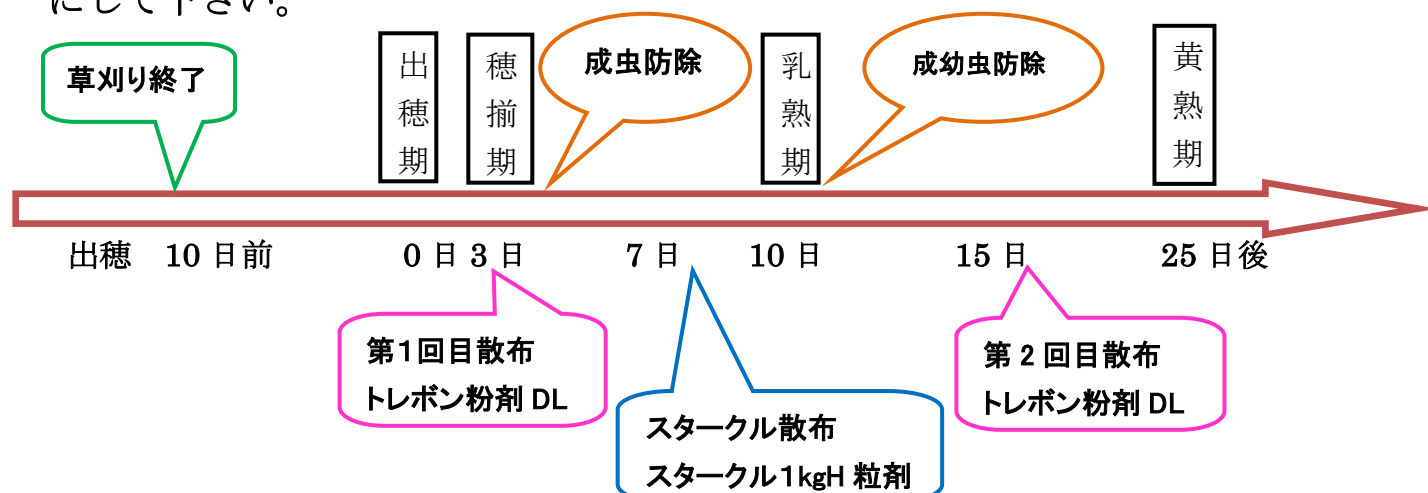
7月後半以降は平年より晴れの日が続き、気温が上がる予報です。今後は生育状況に適した水管理を行いましょう。（詳しくは下記 Point を参照）

再連絡

カメムシ防除を行ってください!!

※前月号で記載済

カメムシが多発するほ場は、穂がほ場全体で80%～90%出た時期（穂揃期）と、それから2週間後の2回薬剤散布を行うと効果が高いので必ず行うようにして下さい。



※トレボン粉剤は：ほ場全体・畦畔・農道等カメムシの生息している場所にくまなく散布。

※スタークル1kgH粒剤の散布のポイント

浅水（田面が露出しないう程度）で散布する。深水や乾燥は避ける。

田全体に均一に散布する。畦畔周りだけでなく田中央部までしっかり散布。出穂後7～10日後が散布適期。

薬 剤	使用時期	使用量 (10a)
トレボン粉剤 DL	穂揃期と乳熟期の2回	3 k g
スタークル 1 kgH粒剤	穂揃期以降（出穂7～10日）	1 k g

どちらか散布

★生育巡回の際、カメムシが飛んでいるのが確認できました。峰の雪もちに限らず、コシヒカリでも必ず防除を行ってください。

Point

①夜間の水のかけ流し（走り水）により、ほ場温度を下げる

（昼間のかけ流しは不要）

②出穂時は稲が最もエネルギーを消費する時期です。穂ばらみ期～開花期

（出穂前後5～7日）は湛水（浅水程度）状態にしましょう。

その後間断灌水の徹底。稲の根に酸素を与え、登熟を向上させる。日中の高温時には特に水を溜めないようにしましょう。

③落水時期を遅くする。（少なくとも出穂後25日以降の落水とする）

湿田については収穫作業を見据えた管理を優先して下さい。

【ウンカ情報】

7月14日に管内の5ほ場にてウンカの発生状況の確認を行いました。5ほ場中3圃場にてウンカの発生が確認されております。

今後ウンカの密度が多くなることが予想されますので、斑点米の原因となるカメムシとの同時防除を兼ねて、必ず殺虫剤の散布を行いましょう。

ウンカは株元に生息します。防除の際は株元にしっかりと届くように散布しましょう。

※トレボン粉剤 DL・スタークル 1 kg H 粒剤はカメムシ・ウンカに効果があります。

現在コロナの影響によりマスク着用で作業することもあるかと思ひます。7月後半からは気温が高くなることが予想されておりますので、熱中症等にお気をつけください。